

## 社会教育委員の役割と取組について ～社会教育委員の活動の活性化に向けて～

広島県立生涯学習センター  
社会教育主事 柳川 明美

### 調査研究の概要

本調査研究では、全国及び広島県内の社会教育委員の設置状況と活動状況、研修の状況や課題等を整理分析することで、社会教育委員として求められる役割、当センターとしてできる支援の方策を模索することを目的としている。

近年、核家族化や、共働き家庭の増加、村落における過疎化・高齢化の進行、ライフスタイルの多様化などにより、地域社会における人間関係の希薄化、家庭・地域の教育力の低下等の問題も取りざたされて久しい。このような状況にあつて、地域住民の意向を行政に反映させることを意図して設置されている社会教育委員の制度、社会教育委員一人一人の果たす役割にかかる期待は大きいと考えられる。

一方で、地域によっては、「社会教育委員の会議が形骸化している」「社会教育委員が名誉職の充て職になっている」「社会教育委員の制度が十分機能していない」などの声もささやかれており、社会教育委員の役割・機能が必ずしも十分に果たされているとは言い難い状況があるのではないかと考える。

そこで、本研究では、まず、社会教育委員に関する法令から、社会教育委員の規定と、社会教育委員の制度を整理し、次に、各種調査から全国及び県内の社会教育委員の設置状況と活動状況を整理比較する。県内の社会教育委員の活動状況については、23市町の担当課に調査票を配布し、得た回答も参考とした。そして、それらの状況も踏まえて社会教育委員に期待されることや役割を明確にする。さらに、特色のある取組をしている社会教育委員の事例として、北海道空知管内「よんまちネット由南長栗（ゆな～く）」、広島県三次市の実践を紹介する。最後に、課題と今後の方向性をまとめる中で、県内各市町の社会教育委員の活動の活性化に向けて、県の生涯学習センターとして、今後、支援できることを明確にしていきたい。

### 調査研究の構成

テーマ設定の理由

- 1 社会教育委員について
- 2 社会教育委員の設置状況・活動状況について
- 3 社会教育委員に期待されること
- 4 特色ある取組事例
- 5 課題と今後の方向性

参考文献，ヒアリング日時等

# 社会教育委員の役割と取組 について

～社会教育委員の活動の活性化に向けて～

## 【目的】

社会教育委員の役割や、社会教育委員に求められることを整理し、積極的に社会教育委員としての取組を行っている方の事例を紹介することで、県内の社会教育委員活動の今後の方向性を示したい。

広島県立生涯学習センター  
社会教育主事 柳川 明美

## テーマ設定の理由

地域社会における人のつながりの希薄化、家庭・地域の教育力の低下がいわれる中、社会教育委員の果たす役割への期待は大きい。

一方で、地域によっては、「社会教育委員の形骸化」「社会教育委員は名誉職」「社会教育委員の制度は十分機能していない」などの声も聞かれ、社会教育委員の役割・機能が必ずしも十分に果たされているとは言い難い状況があるのではないかと考える。

そこで、社会教育委員に求められる役割、研修の状況や課題等を整理分析することで、当センターとしてできる支援の方策を模索することを通して、県内の社会教育委員の活動の活性化に向けた一助になればと思い今回の調査研究テーマを設定した。

# 目次

テーマ設定の理由

- 1 社会教育委員について
  - 2 社会教育委員の設置状況・活動状況について
  - 3 社会教育委員に期待されること
  - 4 特色ある取組事例
  - 5 課題と今後の方向性
- 参考文献, ヒアリング日時等

## 1 社会教育委員について

- (1) 社会教育委員の規定
- (2) 社会教育委員制度

## 1 社会教育委員について

### (1) 社会教育委員の規定

#### ●社会教育委員の設置（社会教育法第15条）

「都道府県及び市町村に社会教育委員を置くことができる。」（第1項）

「社会教育委員は，教育委員会が委嘱する。」（第2項）

## 1 社会教育委員について (1) 社会教育委員の規定

#### ●社会教育委員の職務（社会教育法第17条）

社会教育委員は，社会教育に関し教育委員会に助言するため，次の職務を行う。

- 一 社会教育に関する諸計画を立案すること。
  - 二 定時又は臨時に会議を開き，教育委員会の諮問に応じ，これに対して，意見を述べること。
  - 三 前二号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。
- 2 社会教育委員は，教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べることができる。
  - 3 市町村の社会教育委員は，当該市町村の教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について，社会教育関係団体，社会教育指導者その他関係者に対し，助言と指導を与えることができる。

## 1 社会教育委員について（1）社会教育委員の規定

### ●社会教育委員の委嘱の基準等（社会教育法第18条）

社会教育委員の委嘱の基準，定数及び任期その他社会教育委員に関し**必要な事項は，当該地方公共団体の条例**で定める。この場合において，社会教育委員の委嘱の基準については，文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

## 1 社会教育委員について（1）社会教育委員の規定

### ●広島県の条例（広島県生涯学習審議会条例）

第7条 審議会に，次の各号に掲げる分科会を置く（以下略）。

- 一 社会教育分科会
- 二 （略）

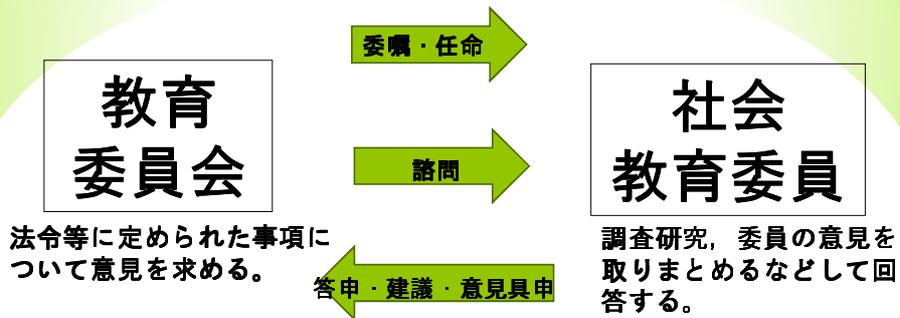
2 各分科会の委員の定数は，**15人以内**とする。

3 社会教育**分科会の委員**は，社会教育法第15条第1項の規定により置く**広島県社会教育委員**とし，広島県社会教育委員の定数は前項の委員の定数と，**任期は2年**とする。

4 前項の広島県社会教育委員は，**学校教育及び社会教育の関係者，家庭教育の向上に資する活動を行う者又は学識経験のある者**でなければならない。

# 1 社会教育委員について

## (2) 社会教育委員制度



## 2 社会教育委員の設置状況・活動状況について

### (1) 設置状況

- ①全国
- ②県内

### (2) 活動状況

- ①全国
- ②県内

### (3) 調査等から見てきたこと

2 社会教育委員の設置状況・活動状況について（1）設置状況 ①全国

e-Stat 政府統計の総合窓口 2013年3月29日公表より

社会教育委員・社会教育関係指導員の設置状況

区分	計			都道府県				
	計	男	女	計	男	女		
都道府県・市町村教育委員会数	1,805	...	...	47	...	...		
設置教育委員会数	1,749	...	...	46	...	...		
計	20,272	13,341	6,931	686	365	321		
社会教育委員	委員数	学校教育関係者	3,309	2,857	452	114	66	48
		社会教育関係者	8,706	5,768	2,938	244	131	113
		家庭教育の向上に資する活動を行う者	2,004	649	1,355	91	11	80
		学識経験者	6,253	4,067	2,186	237	157	80
上記のうち青少年教育に関する特定の事項についての指導助言をする社会教育委員			2,531	1,727	804	...	...	...

2 社会教育委員の設置状況・活動状況について（1）設置状況 ①全国

e-Stat 政府統計の総合窓口 2013年3月29日公表より

社会教育委員・社会教育関係指導員の設置状況

区分	計	市(区)		計	町		計	村		組合		
		男	女		男	女		計	男	女		
都道府県・市町村教育委員会数	809	...	...	746	...	...	183	...	...	20	...	...
設置教育委員会数	788	...	...	735	...	...	170	...	...	10	...	...
計	10,394	6,705	3,689	7,773	5,268	2,505	1,313	932	381	106	71	35
学校教育関係者	1,503	1,277	226	1,374	1,224	150	286	262	24	32	28	4
社会教育関係者	4,535	2,973	1,562	3,398	2,306	1,092	478	329	149	51	29	22
家庭教育の向上に資する活動を行う者	1,029	308	721	731	260	471	146	68	78	7	2	5
学識経験者	3,327	2,147	1,180	2,270	1,478	792	403	273	130	16	12	4
上記のうち青少年教育に関する特定の事項についての指導助言をする社会教育委員	1,461	964	497	932	655	277	135	106	29	3	2	1

## 2 社会教育委員の設置状況・活動状況について (1) 設置状況 ①全国

○社会教育委員の設置は任意だが、都道府県**98%**、市**97%**、町**99%**、村**93%**、全体の平均は**97%**であり、いずれも**100%近く**が設置をしている。このことは、社会教育委員の役割への期待の大きさを表しているといえる。

○全国の社会教育委員数は、2010年の前回調査と比べると、21,366人から20,272人と1,094人減り、全体の約**5%減**であるが、委員の設置率は、若干(**約1%**)高くなっている。人数の減少は、市町村合併等に起因することが考えられる一方で、設置率の増加から、社会教育委員に対する必要感の高まりが伺える。

○委員の内訳を見ると、学校関係者、社会教育関係者、学識経験者である委員数が減っているにもかかわらず、**家庭教育の向上に資する活動を行う者**が、前回調査比で**約4%増**である。このことは、特に市において**約16%増**となっており、顕著に表れている。社会全体で子育てを応援し、家庭の教育力向上の取組に対する機運の高まりが考えられる。

## 2 社会教育委員の設置状況・活動状況について (1) 設置状況 ②県内

広島県立生涯学習センターHP「ばれっとひろしま」より平成27年5月1日現在

市町名	社会教育委員数(人)			任期		設置条例	
	合計	男性	女性	始期	終期	定数(人)	任期
	広島市	13	5	8	平成26年10月1日 平成27年2月1日	平成27年9月30日 平成29年1月31日	20
呉市	24	15	9	平成26年7月1日	平成27年6月30日	24	2年
竹原市	12	9	3	平成26年6月1日	平成27年5月31日	16	2年
三原市	15	7	8	平成26年7月1日	平成27年6月30日	15	2年
尾道市	14	8	6	平成26年6月1日	平成27年5月31日	15	2年
福山市	16	12	3	平成26年7月1日	平成28年6月30日	16	2年
府中市	13	9	4	平成26年10月1日	平成28年9月30日	25	2年
三次市	14	8	6	平成26年4月1日	平成28年3月31日	20	2年
庄原市	15	10	5	平成26年10月1日	平成27年9月30日	15	2年
大竹市	11	8	3	平成27年6月1日	平成29年5月31日	20	2年
東広島市	8	5	3	平成27年5月1日	平成29年4月30日	20	2年
廿日市市	17	7	10	平成27年4月1日	平成29年3月31日	27	2年
安芸高田市	12	10	2	平成26年4月1日	平成27年3月31日	18	2年
江田島市	16	6	10	平成27年2月1日	平成29年1月31日	16	2年
府中町	15	7	8	平成27年4月1日	平成29年3月31日	16	2年
海田町	12	9	3	平成26年4月1日	平成28年3月31日	20	2年
熊野町	11	7	4	平成26年11月1日	平成28年10月31日	12	2年
坂町	13	9	4	平成27年4月1日	平成29年3月31日	16	2年
安芸太田町	14	8	6	平成26年10月1日	平成28年9月30日	15	2年
北広島町	15	11	4	平成26年7月1日	平成27年6月30日	18	2年
大崎上島町	10	8	2	平成26年5月1日	平成28年4月30日	11	2年
世羅町	8	4	4	平成27年4月1日	平成29年3月31日	8	2年
神石高原町	10	9	1	平成26年6月1日	平成27年5月31日	10	2年
合計	310	194	116			391	—

2 社会教育委員の設置状況・活動状況について (1) 設置状況 ②県内

○県内の市町では、広島県立生涯学習センターが毎年行っている行政基礎調査により、過去5年に遡って見ると100%の設置であり、全国平均を上回っている。これは広島県においても社会教育委員の役割に対する期待、必要感の大きさを表しているといえる。

○一方、委員数を見ると、平成23年333人→平成24年331人→平成25年331人→平成26年322人→平成27年310人と、若干減り続けている。平成23年度と平成27年度の委員数を比べると、約7%減となっている。

2 社会教育委員の設置状況・活動状況について (2) 活動状況 ①全国

<都道府県社会教育委員の会議による答申・内容>

(平成20-24年度の5年間)

○社会教育委員会による

答申を行った→18都道府県 (39.1%)

答申の件数 →25件

内容

- ・学校・家庭・地域の連携や地域社会、地域づくりに関する答申 (11件)
- ・社会教育全般に関する答申 (4件)
- ・社会教育委員に関する答申 (3件)
- ・生涯学習の振興・推進に関する答申 (2件) など

※広島県平成22年度

～文部科学省委託調査研究平成25年度「生涯学習政策に関する調査研究」より～

2 社会教育委員の設置状況・活動状況について (2) 活動状況 ①全国

<市町村の社会教育委員の会議による答申・内容>

○社会教育委員の会議による (平成20-24年度の5年間)

答申を行った→22都道府県の市町村  
答申の件数→76件 各年度の平均→15.2件

内容

- ・公民館の振興に関する答申 (15件)
- ・社会教育全般に関する答申 (13件)
- ・市町村立社会教育施設に関する答申 (13件)
- ・生涯学習の振興・推進に関する答申等 (10件)
- ・学校・家庭・地域の連携や地域社会, 地域づくりに関する答申 (8件) など

～文部科学省委託調査研究平成25年度「生涯学習政策に関する調査研究」より～

2 社会教育委員の設置状況・活動状況について (2) 活動状況 ①全国

<連合体の設置>

都道府県において社会教育委員の連合体は47県において48の連合体が設置されており, すべての県で設置されている。  
※広島県社会教育委員連絡協議会

<都道府県協議会等の活動>

総会回数...年1回 39団体 (84.8%)

年2回 7団体 (15.2% ※広島県)

研修回数...年1回 29団体 (63.0% ※広島県)

年2回 16団体 (34.8%) 年3回 1団体 (※島根県)

<その他の活動>

- ・支部・ブロックごとの研修 33団体 (76.7%)
- ・記録誌・報告書の発行 16団体 (37.2% ※広島県)
- ・視察・見学・訪問等 12団体 (27.9%)

～文部科学省委託調査研究平成25年度「生涯学習政策に関する調査研究」より～

2 社会教育委員の設置状況・活動状況について (2) 活動状況 ②県内

「社会教育委員の活動等に関する調査」

調査の方法

各市町の社会教育委員に関する事務を所掌する担当課に調査票（次の頁）を送付，調査を依頼し，社会教育委員の活動等に関する調査を行った。

（平成27年12月）

※県内23市町に依頼→内23市町からの回答

2 社会教育委員の設置状況・活動状況について (2) 活動状況 ②県内

＜調査票の様式＞

＜調査票＞ 担当課：所属（ ） 名前（ ）

【質問票について注まるものに○をしてください。また、具体的な内容等について簡明にお書きください。

11 貴市町の教育委員会では、過去3年間に社会教育委員に諮問を行いましたか。  
 はい（ ） いいえ（ ）  
 「はい」と答えた方に伺います。諮問を行った年度、諮問内容を簡単に教えてください。

年度	諮問内容

12 貴市町の社会教育委員は過去3年間に調査研究を行っていますか。  
 はい（ ） いいえ（ ）  
 「はい」と答えた方に伺います。調査研究を行った年度、内容を簡単に教えてください。

年度	調査研究内容

13 貴市町では、今年度、社会教育委員が参加している研修はありますか。  
 はい（ ） いいえ（ ）  
 「はい」と答えた方に伺います。次の中から、参加している研修に該当するものすべてに○をつけてください。

- 1 全国社会教育委員会、広島県社会教育委員連絡協議会が開催する研究会
- 2 その他の社会教育関係団体（PTA・公民館等）が開催する研究会
- 3 貴市町が開催する社会教育関係者を対象とした研修会
- 4 貴市町が開催する新任の社会教育委員を対象とした研修会や学習会
- 5 その他（ ）

14 貴市町で、社会教育委員対象の研修を行うとした場合に、どんな内容の研修が必要だと思いますか  
 該当するものすべてに○をつけてください。

- 1 社会教育委員の役割
- 2 貴市町内の社会教育関係団体間の連携の形成
- 3 先進的な社会教育事業に関する情報
- 4 社会教育行政施策や事業の地域への普及
- 5 まちづくり・地域づくりへの貢献
- 6 家庭・地域の教育力向上に関すること
- 7 家庭・学校・地域をつなぐパイプの役割
- 8 その他（ ）

15 貴市町の社会教育委員の活動について、お考えを次からお選びください。

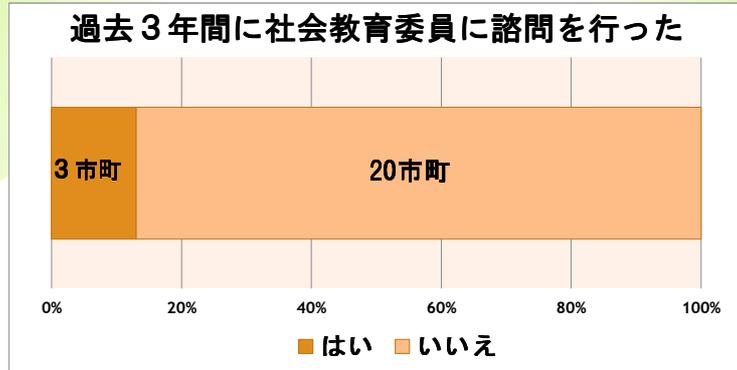
- 1 現状のままよい
- 2 課題を感じているが、改善の必要はない
- 3 課題を感じており、改善が必要だと思うができていない
- 4 課題を感じており、改善のための取組を行っている

16 その他お気づきの点がありましたら、自由に記述してください。

\_\_\_\_\_

～「社会教育委員の活動等に関する調査」～

2 社会教育委員の設置状況・活動状況について (2) 活動状況 ②県内

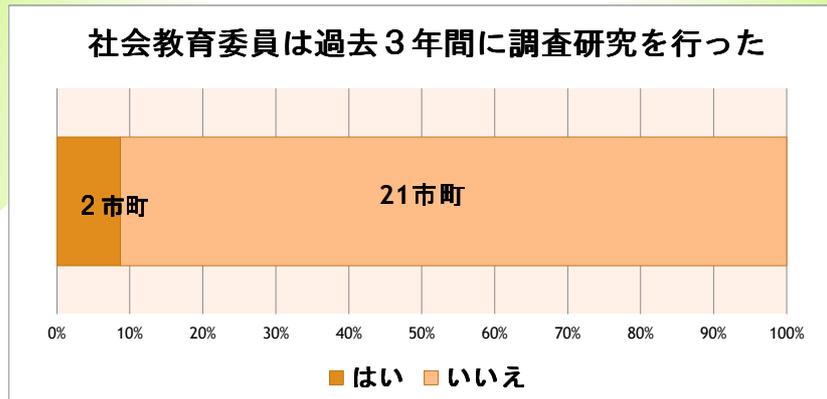


市町による諮問内容

- ・市におけるこれからの生涯学習の推進方策について等 (5件)

ほとんどの市町で、過去3年間に社会教育委員に対する諮問が行われていない。

2 社会教育委員の設置状況・活動状況について (2) 活動状況 ②県内

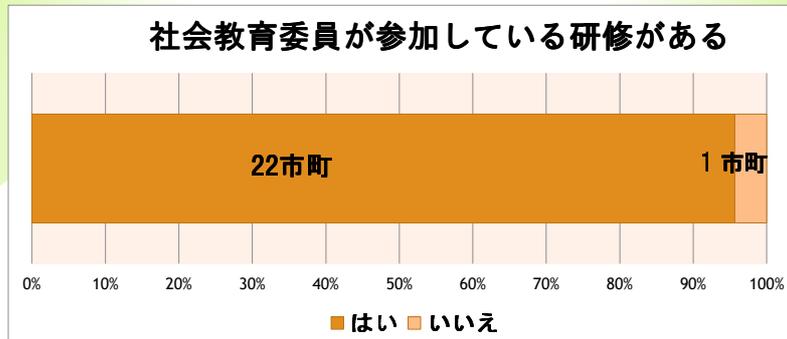


調査研究の内容

- ・より良い生涯学習の姿を目指して (アンケート)
- ・家庭教育 (2か年)

ほとんどの市町で、過去3年間に調査研究が行われていない。

2 社会教育委員の設置状況・活動状況について (2) 活動状況 ②県内

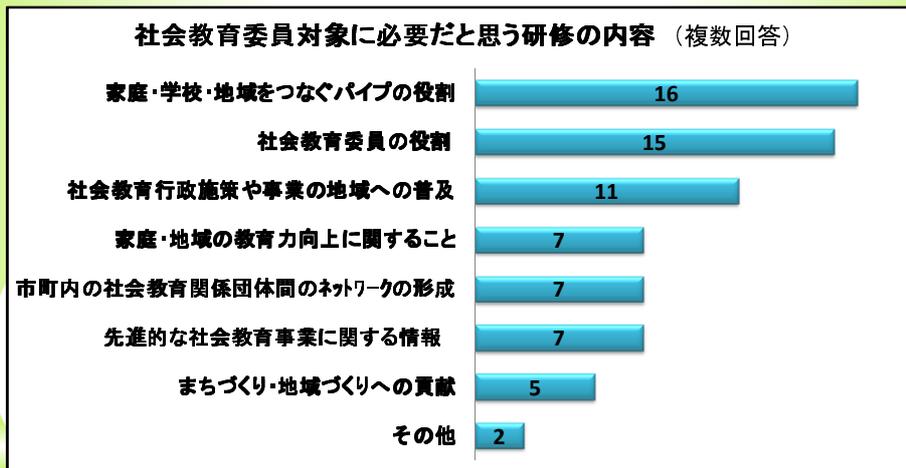


**研修の種類**

- ・全国社会教育委員連合、広島県社会教育委員連絡協議会が実施する研修会 (20)
- ・その他社会教育関係団体が実施する研修会 (5)
- ・市町が実施する社会教育関係者を対象とした研修会・学習会 (3)
- ・その他自主研修など (4)

ほとんどの市町で社会教育委員が参加する研修があると回答した。主に広島県社会教育委員研修会であった。中には、県外の研修にも参加したり、自主研修を行っている市町もあった。

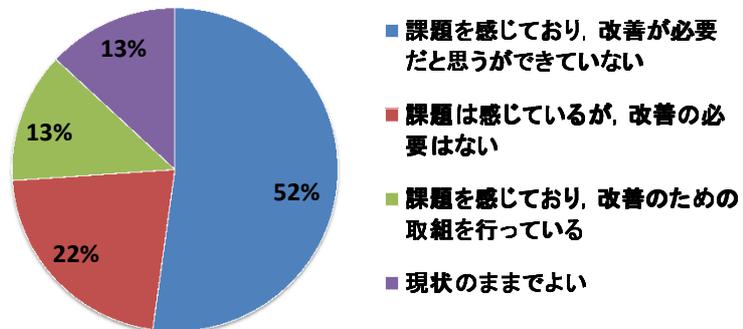
2 社会教育委員の設置状況・活動状況について (2) 活動状況 ②県内



70%が「家庭・学校・地域」をつなぐパイプの役割、次に65%が「社会教育委員の役割」、48%が「社会教育行政施策や事業の地域への普及」について研修が必要との回答があった。その他として「他地域の活動事例」「ファシリテーション力」などの回答があった。

2 社会教育委員の設置状況・活動状況について (2) 活動状況 ②県内

市町の社会教育委員の活動に関する考え



87%が、社会教育委員の活動に関する課題を感じている一方で、改善のための取組を行っているという回答は13%にとどまる。22%は、課題改善の必要はないと感じている。

2 社会教育委員の設置状況・活動状況について (2) 活動状況 ②県内

<市町担当課から課題として挙げられた声>

- 市町において社会教育委員の認知度が低い。
- 担い手不足がある。
- 途中でやめられる方もおり全体として在任期間が短い方が多く、長期にわたってじっくり取り組んでもらうことが難しい。
- 家庭・学校・地域をつなぐ役割の部分が弱い。
- 各種団体の代表などとの横の連携が図られていない。
- 教育委員会の中で教育委員と社会教育委員の関わりが分かりにくい。
- 制度として十分機能しているとは言い難い。

## 2 社会教育委員の設置状況・活動状況について

### (3) 調査等から見えてきたこと

広島県内の社会教育委員の設置状況は、設置率が過去5年間に遡って見ると100%であり、県内各市町とも、社会教育委員の組織がしっかりと存在している。県の連合体としての広島県社会教育委員連絡協議会の活動内容も全国の他の組織と比較すると十分な内容となっている。

活動状況について見てみると、「社会教育委員に対して諮問を行った」という市町は少ない。諮問を受けることが、調査研究を行うきっかけとなり得ることから、また、「諮問を行った」と回答した市町の中に、「調査研究を行った」という回答があったことから、このことは「社会教育委員による調査研究を行った」という数値が低いことと相関があると考えられる。市町による諮問が今以上に増えれば、社会教育委員の役割の一つである調査研究を行う市町も増え、同時に調査研究のためには協議等を重ねる必要も出てくるため、委員としての取組が活発に行われるきっかけにもなると思われる。

## 2 社会教育委員の設置状況・活動状況について

### (3) 調査等から見えてきたこと

研修について見てみると「参加している研修がある」に「いいえ」の回答をしたのは1市町で、その市町は、過去を遡ると、県の研修に複数人での参加があることからこの項目は、ほぼ全ての市町が何らかの研修の機会を持っていると考えられる。

一方で、参加しているとの回答の約70%が全国社会教育委員連合・広島県社会教育委員連絡協議会が実施する研修会であり、市町で地域の実態に応じた内容の研修を実施できている市町は約9%と少なかった。

必要だと思う研修内容について、70%が「家庭・学校・地域」をつなぐパイプの役割、65%が「社会教育委員の役割」、48%が「社会教育行政施策や事業の地域への普及」と回答。「社会教育委員の役割」については、社会教育委員の研修会での参加者アンケートの回答と重なる部分であり、市町担当課・社会教育委員共に、研修の必要性を感じているということが分かる。

## 2 社会教育委員の設置状況・活動状況について

### (3) 調査等から見てきたこと

市町の社会教育委員の活動について、9割近くの市町担当課が、社会教育委員の活動に関して課題を感じている一方で、改善のための取組を行っているという回答は1割強に留まる。課題を感じつつも、優先順位の問題、予算の関係その他の事情から、課題を感じつつ改善に向けた具体的な行動を起こせないでいる状況が見受けられる。

また、「課題はあるが改善の必要はないと感じている」が2割強、「現状に満足している」が1割強となっている。

## 3 社会教育委員に期待されること

### 3 社会教育委員に期待されること

#### ○家庭・学校・地域をつなぐパイプの役割

～多様な協働的關係でのコーディネートの役割～

#### ○家庭・地域の教育力向上に関する積極的な貢献

～学習課題の発見～

#### ○住民の意向を行政や施策の運営に反映させるためのパイプの役割

～個人的立場からの意見具申～

#### ○地域の社会教育に関するネットワークの形成

～平成18年度国立教育政策研究所社会教育実践研究センター「社会教育委員の職務等の実態に関する調査研究報告書」より～

### 3 社会教育委員に期待されること

#### 元気な社会教育委員

##### 「学ぶ人」

活動に必要なあらゆる分野について学ぶきっかけ  
学ぶことは全ての委員にとって大切

##### 「話す人」

社会教育委員は自らの意見を話すためにいる  
地域と行政を結ぶパイプ役として、関わる全ての人の代弁者

##### 「伝える人」

取組や成果をより広く、多くの人に知ってもらうために伝えることを役割とする

「自ら考え行動する社会教育委員に！」

社会教育委員が地域社会教育の「元気の素」になるために、滋賀大学社会連携研究センター教授 神部純一  
平成25年一般社団法人全国社会教育委員連合「社教情報」より

## 4 特色ある取組事例

- (1) 北海道 空知管内  
「よんまちネット由南長栗（ゆな～く）」  
の実践
- (2) 広島県 三次市  
「行動する社会教育委員をめざして！」  
森川幸郎さんの実践

## 4 特色ある取組事例

### (1) 北海道空知管内「よんまちネット由南長栗（ゆな～く）」の実践

平成24年、人口減等により地域の課題解決が単町では困難な状況を打破するため、由仁町、南幌町、長沼町、栗山町の4町の社会教育委員によって「よんまちネット由南長栗（ゆな～く）」を設立。

- ・各町間のネットワークを構築
- ・自主研修の企画運営を通して必要な学習機会の創出
- ・4町の行政職員（社会教育主事）による助言・サポートを得る
- ・学識経験者をオブザーバーとし、継続的な指導・助言を仰ぐ
- ・4町の委員が主体的に取り組めるよう、会議・研修は持ち回り

○北海道内では、各市町単独の研修会、全道規模の研修会、管内ごとの研修会が行われており委員活動の充実に寄与している。社会教育委員の主体的な取組によるものだが、活動を支えるキーパーソンとしての、学識経験者や社会教育主事による支援や活躍が感じ取れる。即戦力となり、積極的に活動できるような委員を公選により選出していることも取組の充実に繋がっている。

～文部科学省委託調査研究平成25年度「生涯学習政策に関する調査研究」より～

## 4 特色ある取組事例

### (2) 広島県 三次市「行動する社会教育委員をめざして！」

市の社会教育委員会議議長である森川幸郎さんは、形骸化した社会教育委員の活動から脱皮し、行動する社会教育委員となるべく、組織的な改革の必要性を感じ、委員の在り方から見直しを行う。

- ・社会教育委員の意識改革と組織活動
- ・家庭教育支援への取組 2年間で提言書をまとめる目標を設定
- ・取組の活性化のための様々な工夫

委員会議を2グループに分け、少人数での活発な意見交換  
委員同士の懇親を大切にし、関係づくりに努める。

家庭教育支援の大切さについて、市や教育委員に働きかける  
機会を設定。

事務局との連携を密に行う。

○取組に当たって、森川さん自らが市の担当者と県立生涯学習センターを訪れ相談を行う。取組の方向性を見定め市担当者と連携を図りながら進めた。

## 4 特色ある取組事例

### (2) 広島県 三次市「行動する社会教育委員をめざして！」



リーフレット「三次の子育て5か条」

## 4 特色ある取組事例

(2) 広島県 三次市「行動する社会教育委員をめざして！」



ポスター 「三次の子育て5か条」

## 4 特色ある取組事例

○市社会教育委員14名が、調査研究、協議を進め、市内の小学3年生と中学2年生の保護者を対象にアンケートを実施。それらの結果を踏まえてまとめた、提言書「家庭の教育力向上にむけて」を平成27年12月18日に市教育委員会に提出。また、併せて作成されたリーフレット「三次の子育て5か条」を、市内の小中学校、保育所を通じて保護者に配布した。その後、病院や郵便局等、人が多く集まる場所に掲示するためにポスターも作成し、社会教育委員自らが配布した。リーフレットを受け取った市内の保護者からは「内容が簡潔で分かりやすい」「温かみがある」などの反応があり好評という。

○提言書提出、リーフレット作成後の取組の具体については、新年度に委員の改選があるため、新しいメンバーで協議、決定していく予定だという。取組内容についての青写真はすでに森川さんの中にある。

○このような取組を通して、社会教育委員と学校との連携が深まり、まさに「行動する社会教育委員」を実践されている。森川さんを中心とした三次市の社会教育委員の皆さんの、今後の活躍に注目したい。

## 5 課題と今後の方向性

### 5 課題と今後の方向性

今回、社会教育委員の取組について調査研究を行って分かったことは、「社会教育委員の課題としてよく挙げられる、答申・建議が出されていない、調査研究費が少ない、研修機会は年2,3回程度で予算がない、社会教育委員の会議は不活発、教育委員会と必ずしも関わりがあるとはいえないなどのことは、広島県内の市町も例外ではない」ということである。

一方で、社会教育委員の活動が活発な市町に見られることとして報告されている、「教育委員会事務局の担当者は意欲的である、社会教育委員に意欲がある人・多彩な人物などが（社会教育委員として）選ばれている、社会教育委員による研究調査がされている、教育委員会が社会教育委員の会議の提言などを重視している」などのことは、広島県内で社会教育委員による活動が活発な傾向にある市町にも共通している特徴となっていると思われる。

## 5 課題と今後の方向性

社会教育委員としての役割をしっかりと認識し、行動に移すリーダーが存在している市町の社会教育委員の活動は充実していることから、社会教育委員は決して名誉職ではなく、自ら考え行動する社会教育委員になること、「学び」「話し」「伝え」ようという意識を自覚してもらうことの必要性を感じる。

また、社会教育委員の意識とともに、市町担当課・職員の理解と連携が合わさった時に、社会教育委員の果たす役割の充実度は加速度的に高まるものとする。

これらは、必ずしもどちらが先でなければならないということはない。一方で、社会教育委員の会議の組織の仕組みから考えて、事務局としての市町行政側の社会教育委員に対する働き掛け方に対する意識変革の必要性を感じる。

## 5 課題と今後の方向性

<今後、センターとして>

### ○市町への働きかけ

市町訪問などを通して、市町担当職員が、社会教育委員活動に関する理解と意識を高めていくよう働き掛ける。

### ○研修の充実

社会教育委員の皆さんに、自ら考え行動する社会教育委員への目覚めを促すために研修の内容を充実させる。

社会教育委員の皆さんのニーズをつかみ研修内容に反映させることで研修会への参加率を上げる。

研修の中で、交流の場をできる限り設定し、各地域の社会教育委員同士のネットワークの構築を目指す。

## 参考文献

- ① 国立教育政策研究所社会教育実践教育センター「社会教育委員の職務等の実態に関する調査研究報告書」平成19年4月
- ② 文部科学省委託調査研究平成25年度「生涯学習政策に関する調査研究」「コミュニティ形成に寄与する社会教育推進体制に在り方に関する課題研究」平成26年3月
- ③ いわたの生涯学習2010研究報告「社会教育関係職員・委員を対象とする研修の充実方策に関する調査研究」
- ④ 大正大学教授・鎌倉社会教育委員会議長 蛭田道春「社会教育委員制度の推移からみたその今日的課題と方向」社会教育2014年4月p22-26
- ⑤ 香川県教育委員会香川県社会教育委員の会「社会教育委員ハンドブックみわーく」平成23年3月
- ⑥ 文部科学省一般社団法人全国社会教育委員連合「ご存知ですか？わたしたちのまちの社会教育委員さん！」
- ⑦ 志々田まなみ「平成24年度広島県社会教育委員研修 第1分科会社会教育委員の役割」平成24年
- ⑧ 広島県立生涯学習センター「平成26年度江田島市社会教育関係研修会」平成26年
- ⑨ 第31期 新潟県社会教育委員の会議「社会教育委員の手引き～行動する社会教育委員を目指して～」平成24年
- ⑩ e-Stat 政府統計の総合窓口 2013年3月29日 <https://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do>
- ⑪ 広島県立生涯学習センターHP「ばれっとひろしま」 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/center/>
- ⑫ 社団法人全国社会教育委員連合「社会教育委員のためのQ&A」平成22年
- ⑬ 滋賀大学社会連携研究センター教授 神部純一「社会教育委員が地域社会教育の「元気の素」になるために―「学び」「話し」「伝える」社会教育委員になろう―」社教情報№69 平成25年9月
- ⑭ 常葉学園大学教育学部教授 上條秀元「社会教育委員の今日的役割」社会教育 2012年6月p14-19
- ⑮ 東京家政大学大学院教授 山本和人「社会教育の進捗に向けた行政からの委嘱委員への期待」社会教育2012年6月p6-12
- ⑯ 島根県立東部・西部社会教育研修センター「しまねの社会教育だより」vol.5 2010年9月
- ⑰ 島根県立東部・西部社会教育研修センター「しまねの社会教育だより」vol.19 2015年3月
- ⑱ 広島県社会教育委員連絡協議会「社教ひろしま」№62 平成28年2月
- ⑲ 三次市教育委員会文化と学びの課 明賀 眞佐子主任 平成28年3月17日ヒアリング実施